

共同参画

10

October 2026

"Kyodo-sankaku"
Number 204
Japan Cabinet Office

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府
男女共同
参画局



特集

女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援

—「夏のリコチャレ2026 ～理工系のお仕事体感しよう!～」開催報告—

未来の選択肢を広げる

私は長崎県島原市で育ち、大学では生物応用化学を学びました。卒業後は化粧品の商品開発からキャリアを始め、その後マーケティングへ進み、現在は食のブランドづくりに携わっています。マーケティングは、データで人を理解し、感性で人の心を動かす仕事です。私の仕事では、理系と文系は分かれていません。理系で培った「なぜ」と問い、仮説を立て、確かめ、失敗から学ぶ姿勢は、今も私の土台です。理工系を選ぶことは、将来を一つに決めるのではなく、未来の選択肢を広げます。

科学技術が社会を大きく変える今、誰が課題を見つけ、何を問い、何をつくるかで未来は変わります。多様な視点が加わることは、公正さだけでなく、より良いイノベーションに不可欠です。「女性だから」「理系は特別な人のもの」という思い込みで扉が閉じられることは、本人にも社会にも大きな損失です。

STEM Girls Ambassador（理工系女子応援大使）として全国の学校を訪れ、私は「自分のやりたいことは自分で決める」「人生の選択に正解はない。選んだ道が正解になる」「行きたい道を切り拓け」と伝えてきました。講演後に、自分のワクワクを大切にしたい、マーケティングにも興味を持ったという声に触れるたび、可能性を狭めているのは能力ではなく、情報や出会いの不足であることが少なくないと実感します。

これから必要なのは、進路選択の直前だけの働きかけではありません。早い段階から科学や技術の面白さに触れる体験、多様なロールモデルとの出会い、そして保護者や教員も無意識の思い込みに気づき、本人の意思を後押しする環境を、学校、大学、企業、地域が共につくることです。住む地域や家庭環境に左右されず、誰もが機会に出会えることも重要です。

「好き」「知りたい」「やってみたい」という小さな火を、周囲の大人が消さずに育てる。私はこれからも、一人ひとりが自分の意思で道を選び、選んだ道を自ら正解にしていけるよう、扉を開く言葉と出会いを届け続けたいと思います。



ズナイデン房子
ZNAIDEN Fusako

日本マクドナルドホールディングス株式会社
取締役
日本マクドナルド株式会社
取締役 上席執行役員 CMO

“Kyodo-sankaku”

共同参画

10

October 2026

Number 204

目次

Contents



Special Feature

特集1 Page.2

女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援
-「夏のリコチャレ2026～理工系のお仕事体感しよう!～」開催報告-

特集2 Page.4

令和8年度 全国学力・学習状況調査の分析結果

Topics

トピックス1 Page.6

令和8年度「こども霞が関見学デー」出展報告

トピックス2 Page.8

令和7年年金制度改正を踏まえた
社会保険適用拡大特設サイトのリニューアル

Series

連載 Page.9

「輝く女性の活躍を加速するリーダーの会」参加者の取組

連載 Page.12

JGEPA (ジーパ) の窓

連載 Page.13

ひとつ「働き方」を変えてみよう! カエル! ジャパン

News & Information

ニュース&インフォメーション Page.10

第2回ジェンダー次世代フォーラムを開催します!

ほか

女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援 ー「夏のリコチャレ2026～理工系のお仕事体感しよう!～」開催報告ー



内閣府男女共同参画局推進課

内閣府は、文部科学省・一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）と共催で、女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援するため、「夏のリコチャレ2026～理工系のお仕事体感しよう!～」を開催し、夏休み期間を主として企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントについて、様々な広報を行いました。本号では、「夏のリコチャレ2026」の開催実績と、イベントを実施した団体の中から、3つの団体の取組事例を紹介いたします。

1 「夏のリコチャレ2026」開催実績について

「夏のリコチャレ2026」期間には各団体が様々なイベントを開催しており、内閣府「理工チャレンジ」サイト内で、イベントの実施日や申込サイトを一覧に取りまとめ、情報発信を行いました。開催実績の詳細は以下のとおりです。

【開催期間】 2026年6～9月

【実施団体数】 113団体（実施団体内訳…企業：48、大学等：32、地方公共団体：12、学術団体・その他：21）

※地方公共団体と企業、企業と大学等、複数団体による開催は、「その他」に分類しています。

【イベント数】 225件

【参加者数合計】 約15,000名 （実施団体数、イベント数、参加者数合計は、2026年9月17日時点）

【主なイベント内容】

＜企業＞職場見学、工場見学、職業体験、ワークショップ、実験、先輩社員との交流等

＜大学＞サマースクール、実験教室、シンポジウム、セミナー、

女子学生座談会、オープンキャンパス等

＜地方公共団体＞地域の企業見学、仕事体験、職業体験、

科学教室、実験教室等

＜学術団体・その他＞実験教室、体験学習、ワークショップ、見学会、交流会等



「夏のリコチャレ2026」の
詳細はリンクを御覧ください。

URL

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/event/2026/summer.html>



2 イベント実施団体の取組事例紹介

株式会社 IHI

飛行機のエンジンってどう作るんだ!?お仕事体験&工場見学



IHIにとって、技術系従業員のジェンダーバランス（ダイバーシティ）推進は重要な課題の一つです。IHIだけでなく、そもそも社会として理工系を目指す女性が少ないことを課題と捉えた社員有志グループが、社内の副業制度を利用し、理工系女性の活躍を後押しする活動を3年前に始めました。今回はその有志グループにより、次世代を担う女子中高生の皆さんに、現役で働く理工系女性の姿やものづくりの現場に触れていただく機会として、お仕事体験と工場見学イベントを企画しました。

当日はIHIの飛行機エンジン整備工場を見学いただきました。参加者からは、「普段じっくり見ることができないエンジンを見る貴重な体験ができてよかった」、「エンジンを試運転する場所を見学できて面白かった」といった感想が多数寄せられ、イベントを楽しんでいた様子が伺えました。

これからもエンジニア職の楽しさ、ものづくりの現場の躍動感を伝える活動を続けてまいります。



エンジン模型前での説明の様子



業務内容について説明を受ける様子



日本精工株式会社 ものづくりのヒミツ発見!～ベアリング組立体験&工場見学ツアー ONLINE CHALLENGE～

日本精工 (NSK) は2018年より、理工系分野を目指す女子生徒・女子学生の支援を目的としてリコチャレに参画し、夏にオンラインと対面の2形式でイベントを実施しています。両イベントとも、「ものづくりのエンジニア体験」をテーマに、「見る・聞く・作る」を組み合わせた内容としています。

2026年8月に開催したオンラインイベントでは、事前配布したキットを使用するNSK製品「ベアリング」の組み立てと、組み立てた製品を手元で確認しながら、実際の製造現場を見学するオンライン工場見学を行いました。組み立てと工場見学のガイドは現役の女性エンジニアが担当し、理工系分野の仕事やキャリアを具体的にイメージできる機会としました。また、理工系大学の教授からのビデオメッセージも紹介し、多様な人材がそれぞれの強みや視点を生かして研究や技術開発、社会課題の解決に携わる実例を紹介しました。参加者からは「工場見学が面白かった」、「理工系の学びが将来の幅広いキャリアにつながることを知ることができた」といった声が寄せられました。



ベアリング組立体験の様子



大学教授からのビデオメッセージ

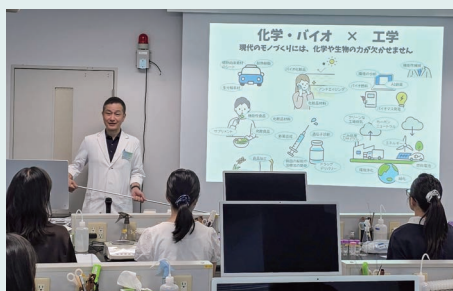


神奈川工科大学 KAITサイエンスラボ&理系女子座談会

科学技術振興機構 (JST) による「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の採択機関として、これまでのアンケート結果を踏まえ、体験型実験と理系女性の進学・就職経験を直接聞くことができる機会を設けました。午前は「自分好みの化粧水作り」と「線虫によるがん検知」をテーマとした体験実験を実施し、午後は本学OGおよび女子学生との座談会「全国で活躍する理系OGと話そう～理系女子のリアルなキャリア座談会～」を生徒・保護者向けに行いました。

参加した生徒の感想として、実験では「初めての体験ができて良かった」、「化粧水づくりが楽しかった」、「成分の特徴について学ぶことができた」、座談会では「多くの方の話を聞くことができて楽しかった」、「理系の進路や働き方について理解が深まった」との声が聞かれました。また、保護者の感想として、「OGの方々の経験談を聞くことができ、進路選択の参考になった」、「OGの方々の成長した姿に感銘を受け、娘の将来像を考える機会となった。」との声が聞かれました。

午前の体験型実験では、保護者の方々も熱心に見学・観察されていました。午後の座談会でも、生徒・保護者による活発な意見交換が行われ、和やかな雰囲気の中で交流が深められていました。



KAITサイエンスラボ「自分好みの化粧水作り」と「がんの匂いを嗅ぎ分ける! 線虫を見てみよう」



理系女子座談会「全国で活躍する理系OGと話そう」

※KAIT (カイト) は、神奈川工科大学のコミュニケーションネームです。

令和8年度 全国学力・学習状況調査の分析結果

文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当） 付学力調査室

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」、「学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」、「そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証サイクルを確立すること」を目的として実施しています。

令和8年度は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、英語（中学校のみ）の教科調査と質問調査を行いました。

調査概要

調査実施日

- 令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

調査問題

- 学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善のメッセージを発信

今年度の調査の特徴

- 中学校英語（4技能「聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと」）の全面CBT（Computer Based Testing）化
- ※「話すこと」調査のみ令和5年度もCBTで実施

結果公表スケジュール

- 結果公表①：令和8年7月16日（木）
正答率・IRTバンド分布などの全国平均
- 結果公表②：令和8年8月3日（月）
全国データに基づく分析結果
- 結果公表③：令和8年9月30日（水）
都道府県・指定都市別データに基づく分析結果

教科に関する調査結果のポイント

教科調査において、国語では、文章を引用しながら自分の考えと根拠を区別して表現すること、算数・数学では、体積や割合、図形に関する基本的な概念を具体的な場面と結び付けて理解すること、英語では、自分の考えとともにその理由を伝えることなどに課題が見られました。

調査結果ならびに調査結果を踏まえた指導改善のポイントについては、国立教育政策研究所ホームページで公開しています。

文部科学省・国立教育政策研究所
令和8年度全国学力・学習状況調査 報告書

URL <https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/index.html>



男女別の各教科の平均正答率・スコア、興味・関心、理解度

国語の平均正答率は、小学校、中学校ともに女子が男子を上回りました。小学校国語は女子65.2%、男子57.7%で7.5ポイント差、中学校国語は女子68.6%、男子60.7%で7.9ポイント差でした。一方、小学校算数、中学校数学、中学校英語については、大きな男女差は見られませんでした。

■平均正答率・スコア（男女別）

	小・国語	中・国語	小・算数	中・数学	中・英語
女子(a)	65.2%	68.6%	55.5%	58.9%	510
男子(b)	57.7%	60.7%	58.3%	57.0%	490
女子(a)－男子(b)	7.5	7.9	－2.8	1.9	20

各教科について「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と考える児童生徒の割合には、大きな男女差は見られませんでした。

一方、算数・数学では、平均正答率に大きな男女差が見られないに関わらず、「勉強は得意」「勉強は好き」と回答した割合は、男子が女子を上回りました。

■各教科の興味・関心(男女別)



無意識の思い込みの解消に向けた取組の推進

こうした意識の差が生じる背景は、今回の調査だけでは分かりませんが、男女を問わず、全ての児童生徒が必要な資質・能力を身に付け、自らの興味・関心や適性に応じて、進路を適切に選択できるようにする取組を進める必要があります。

そのためには、学習内容を日常生活や社会と結び付ける授業、多様な仕事や生き方に触れる機会、児童生徒の興味・関心や挑戦を後押しする周囲の働きかけが重要です。

文部科学省では、女子中高生と研究者等との交流機会の提供や、シンポジウム、出前授業などに地域や企業等と連携して取り組む大学等への支援などを通じて、引き続き、男女を問わず、全ての児童生徒に必要な資質・能力を育み、一人一人が自らの可能性を広げられる教育の実現に取り組んでまいります。

文部科学省
全国的な学力調査(全国学力・学習状況調査等)

URL https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/



令和8年度「こども霞が関見学デー」出展報告

「こども霞が関見学デー」は、各府省庁が連携し、所管の業務説明や関連業務の展示等を行うことにより、夏休み期間中にこどもたちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に関する理解を深めてもらうこと、活動参加を通じて親子の触れ合いを深めてもらうことを目的とした取組です。

今年は、7月29日(水)、30日(木)の2日間、実施しました。

内閣府男女共同参画局

「求む! 未来の理工系女子!」

内閣府男女共同参画局推進課

内閣府では、小中学生を主な対象として、理工系に親しんでいただけるプログラミング体験教室を開催しました。

実施イベントに関するご紹介

「求む! 未来の理工系女子!」と題して、(株)エスワイシステム様にご協力いただき、プログラミング言語「Python」を使用した数字当てゲーム「ヌメロン」を題材として小中学生にプログラミングを体験してもらう教室を開催しました。30分のプログラムを2日間で計10回開催し、合計85名のこどもたちに参加いただきました。また、ブースの周囲には、夏休み期間を利用して各団体が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業「夏のリコチャレ2026」のポスターや、女子中高生等の理工系進路選択に関するデータ等を掲示しました。加えて、ブース入口付近にはモニターを設置し、様々な分野で活躍する理工系出身の方々から女子中高生等に向けたメッセージ動画を放映しました。



受付では様々な分野で活躍する理工系出身の方々からのメッセージ動画を放映しました



ブースの周囲には内閣府の取組や、女子中高生等の理工系進路選択に関するデータ等を掲示しました

こどもたちが、実際にプログラミングの仕事に携わる方から直接手ほどきを受けながら、熱心にゲームに取り組んでいる様子が印象的でした。また、保護者の皆様も、ブース周囲の理工系に関する展示について、関心を持ってご覧いただいている様子も見受けられました。

今回は、「理工チャレンジ」イメージキャラクター「リコちゃん」のシールを作成し、ブースに立ち寄ってくれたこどもたちに配布しました。シールには、「リコチャレ!」HPへの二次元コードを貼り付け、興味を持ったこどもたちが自分自身で調べることができるようにしました。また、体験教室に参加したこどもたちに配った特製キラキラシールは大好評で、楽しみながら理工系に興味を持てただけの時間となりました。



こどもたちが積極的にプログラミング体験に取り組む様子

理工チャレンジ(リコチャレ)

URL

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/>

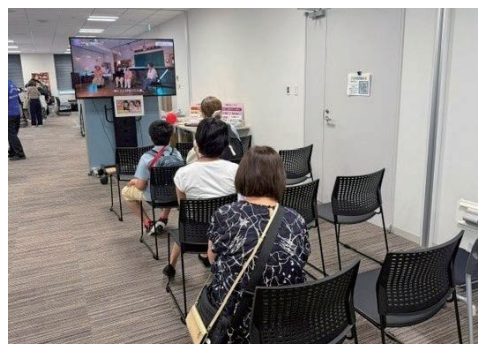




シールや啓発カードを配布

内閣府の男女間暴力対策課のブースでは、性暴力の防止について理解を深めていただくため、「今こそ知りたい! 性暴力のこと~正しい知識を身につけよう」と題した啓発動画を上映しました。動画には、タレントのバービーさんやインティマシーコーディネーターの西山ももさんらが出演し、一人一人が性暴力を身近な問題として捉え、できることについて考える内容となっています。また、性被害を受けたこどもの理解と支援のために保護者・大人ができることを紹介したパンフレットをはじめ、相談窓口を案内する啓発カードや啓発シールを配布しました。

当日は多くの方にブースへお立ち寄りいただき、性暴力の予防に関心を寄せていただくとともに、相談窓口を知っていただくことができました。今後も、性暴力被害のない社会の実現に向けた広報啓発活動に取り組んでまいります。



「今こそ知りたい! 性暴力のこと」上映の様子

動画「今こそ知りたい! 性暴力のこと」は、下記からご覧いただけます。

URL

<https://www.youtube.com/watch?v=WuLhZ1CuEKY>



「SDGs ゴール5『ジェンダー平等』を学んでみよう」

独立行政法人男女共同参画機構

独立行政法人男女共同参画機構 (JGEPA) は、「文部科学省こども霞が関見学デー」にブースを出展しました。

文部科学省の会場では、「SDGs ゴール5『ジェンダー平等』を学んでみよう」をテーマに、男女共同参画すごろく (紙版・電子版)、「なぜ女性の校長先生は少ないの?」を考えるワーク、教育・経済・政治・生活時間におけるジェンダーギャップに関するクイズ等を行いました。ブースにはたくさんのこどもたちが訪れ、楽しく遊びながら、ジェンダー平等への理解・関心を深める機会となりました。

オンラインで行われたプログラムでは、男女共同参画すごろく、クイズに加え、JGEPA 情報ライブラリーが所蔵する、小学生向けのジェンダー平等を学べる本を紹介しました。



すごろく (紙版) で遊ぶこどもたち



小学生低学年向け図書ブックログ展示

詳細は、こちらをご覧ください。

URL

<https://www.jgepa.go.jp/program/other/kengaku/2026/003/index.html>



令和7年年金制度改正を踏まえた 社会保険適用拡大特設サイトのリニューアル

厚生労働省では、パート・アルバイトなどで働く方の医療保険や年金の保障が充実するよう、社会保険（健康保険・厚生年金保険）の加入対象となる方の範囲を拡げています。こうした社会保険の適用拡大を円滑に進めるため、事業主や従業員のみなさまに向けた情報発信にも取り組んでいます。

このたび、令和7年年金制度改正を踏まえ、「社会保険適用拡大特設サイト」及び掲載コンテンツの全面的なリニューアルを行いました。本稿では、リニューアルのポイントや各コンテンツの概要をご紹介します。

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室

社会保険適用拡大とは？

令和7年年金制度改正により、パート・アルバイトなどで働く方の社会保険の加入要件が段階的に拡大されます。「企業規模」や「賃金」に関する要件が見直されることにより、週20時間以上働く方は、勤務先の規模にかかわらず、社会保険に加入するようになります。

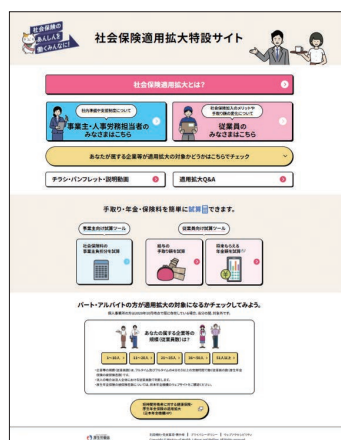
この見直しは公布から10年かけて2035年10月まで段階的に実施されるため、適用となる時期は勤務先の規模によって変わります。

チラシ・ショート動画等の周知用コンテンツ



従業員向けチラシ3種（周知用コンテンツの例）

社会保険適用拡大特設サイト



社会保険適用拡大特設サイトのトップページ

制度概要、加入対象者、社内準備、社会保険加入のメリット等を「事業主・人事労務担当者向け」と「従業員向け」に分けて掲載しており、それぞれの関心や疑問に応じて必要な情報を探しやすい構成となっています。

また、社会保険に加入した場合の手取り額の変化や将来受け取る年金額の変化を確認できる試算ツールも掲載しています。

特設サイトには、制度を分かりやすく理解いただくためのコンテンツを掲載しており、特に従業員のみなさま向けに、以下のチラシやショート動画を掲載しています。

- ・加入後の手取り額の変化や将来受け取れる年金額の試算ツールの使い方を解説した「社会保険加入のメリット」
- ・適用拡大の対象者、加入による医療・年金のメリットについて図解した「社会保険加入を考える3ステップ」
- ・従業員からのよくある質問を始めとしたQAを掲載した「社会保険加入に関するQA集」

パート・アルバイトなどで働く方やそのご家族をはじめ、制度について知りたい方はぜひご覧ください。

このほか、事業主・人事労務担当者のみなさま向けには支援制度や社内準備の進め方を解説したチラシ、ガイドブック、手引きを掲載しています。

社会保険適用拡大特設サイト

URL

<https://www.mhlw.go.jp/tekiyoukakudai/>



「輝く女性の活躍を加速するリーダーの会」 参加者の取組

「輝く女性の活躍を加速するリーダーの会」は、女性活躍の推進にコミットする企業経営者や知事・市町村長等、約340名が参加しています。本連載では、参加されているリーダー2名の取組を紹介します。（氏名五十音順）。

内閣府男女共同参画局総務課

すべての人が働きやすい職場をめざす

大日 陽一郎

山科精器株式会社
代表取締役社長



私が山科精器に入社した約15年前は、社員の2割を占める女性は全員が一般職で、補助的な業務を担っていました。そこで、希望者や上司の推薦による総合職への転換を進め、評価・教育制度を整備。全員が総合職へキャリアチェンジし、現在では管理職の16%を女性が占めています。また、オフィスカジュアルを導入し、「事務員さん」という固定観念をなくすことで、自分らしく働き、意見を発信できる土台もつくりました。

私たちがめざすのは、性別や年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、誰しもうまく働ける職場です。社員が会社をより良く変える「社員提案型」の風土を育み、「やりたいことが、結果として社会のためになっていた」という状態を理想としています。

その一つが「業務仕分け」です。業務を細分化しチームで担うことで、残業削減や育児・介護との両立につなげています。また、女性社員による広報チームは社外からも業務を受注し、「利益を生み出すバックオフィス」として活躍しています。

労働力不足の時代だからこそ、今いる社員を活かす経営が欠かせません。人が活ければ技術が育ち、顧客への価値が高まり、選ばれる会社になります。誰もが幸せに働ける職場づくりを通じ、地域の先駆けとなる企業をめざします。



オフィスカジュアル導入のプロジェクトメンバー

女性技術者が日本を変える! ~芝浦工業大学の挑戦~

鈴見 健夫

学校法人芝浦工業大学
理事長



日本の持続的な発展には、多様な視点から新たな価値を創造できる理工系人材の育成が不可欠です。芝浦工業大学は「女性技術者が日本を変える」との思いのもと、女性が理工系を志し、学び、研究を深め、社会で活躍するまでを一貫して支える環境づくりを進めてきました。

その成果は着実に表れています。2026年度的女子新入生比率は過去最高の30.8%となり、国内の工業大学で初めて30%を突破しました。学部全体的女子学生比率も過去最高の26.5%に達しています。さらに、女子学生の大学院進学率は年々上昇し、現在は約5割に迫っています。就職においても、女子学生は2年連続で就職率100%を達成しました。

こうした成果の背景には、理工系女子特別入学者選抜や奨学金、女子中高生への理工系の魅力発信、女子校との高大連携（2026年度女子高校生サマー・インターンシップは17校から101名が参加）、大学院進学・キャリア支援など、入口から出口までの継続した取組があります。

女性が理工系で学び、技術者・研究者として当たり前活躍する。その多様な視点が新たな技術やイノベーションを生み、日本社会を変えていく。本学はこれからも、女性技術者が未来を切り拓く社会の実現に挑戦してまいります。



女子高校生対象サマー・インターンシップ2026の様子

女性リーダーの参加も
お待ちしております！

「リーダーの会」へ、是非ご参加(ご紹介)ください！
参加条件など詳しくはこちら。

URL https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html



第2回ジェンダー次世代フォーラムを開催します！

令和8年11月7日(土)に「第2回ジェンダー次世代フォーラム」を開催します。

本フォーラムは、昨年より開始した「ジェンダー次世代ネットワーク・プログラム」の一環で、長期的かつ実務的視点からジェンダー分野を牽引する若者の育成とネットワーク構築を目指し、「ジェンダー平等が拓く、デジタル時代のわたしたちのwell-being」をテーマに若者の視点で議論を行います。

■日時：令和8年11月7日(土) 午後

■内容：

基調講演：国連女性機関 (UN Women) 幹部
パネルディスカッション1

「ジェンダー平等の推進による幸せ(well-being)の実現」をテーマに
家族、育児・介護、働き方、キャリア形成などについて議論します。

報告セッション：海外の研究機関及び国際会議派遣者による報告

パネルディスカッション2

「デジタル時代のジェンダー平等」をテーマに、デジタル技術の活用による
機会創出やリスク対応について若者の視点で議論します。

ネットワーキングレセプション

■事前申込制(応募者多数の場合は抽選) 参加費無料



昨年の様子

詳細は、外務省ウェブサイトをご覧ください。

URL

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/pagew_000001_00004.html



「犯罪被害者月間」等のご案内

11月1日から12月1日は、「犯罪被害者月間」です。

警察庁主催の「ここをつなぐ国民イベント2026～ギュッと集まれ支援の輪～」(11月9日開催)では、犯罪被害者御遺族による基調講演をはじめ、犯罪被害者等支援に関する広報コンテスト、標語、中学・高校生による作文コンクールの表彰式及び同受賞作品の朗読のほか、犯罪被害者等支援に関するパネル展示等を予定しています。そのほか、全国各地で講演会や街頭イベント等を実施しますので、是非ご参加ください。

また、犯罪被害にあわれた方や支援者向けの情報を集約したポータルサイト「ギュッとCH(チャンネル)」では、関係機関・団体の支援制度や相談窓口等を幅広く掲載し、基礎的な知識や犯罪被害者等の心理を学ぶことができる研修動画「ギュッとラーニング」も掲載しています。

さらに、Xアカウント「ギュッとちゃん_被害者支援(警察庁)」において、犯罪被害者等支援に関する施策の紹介、イベントの告知・募集等の情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。



犯罪被害者月間ポスター

イベントの情報は、こちらをご覧ください。

URL

<https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/koukei/week.html>



ギュッとCH(チャンネル)は、こちらをご覧ください。

URL

<https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/portal/index.html>



ギュッとちゃん_被害者支援(警察庁) X

URL

https://x.com/gyuttochan_npa



こども家庭庁公式LINE・「日本一楽しいこどもまんなかドリル」のご案内

こども家庭庁では、公式LINEを通じて、子育てに役立つ情報、こども・若者向けの情報、制度やイベントのお知らせ、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組など、さまざまな情報をタイムリーに発信しています。

あわせて、日本一楽しいこどもまんなかドリル「こども家庭庁×うんこドリル こどもまんなか」も公開しています。楽しみながら、「こどもまんなか」の考え方に触れていただける内容です。冊子をご希望の方は、下記までお問い合わせください。冊子は50冊単位で、最大100冊まで送付可能です(50冊、100冊)。送料は着払いで発送いたします。なお、数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

こども家庭庁 こどもまんなかアクション事務局 制作物担当

メール: contents@cfa.go.jp

件名: こどもまんなかうんこドリルについて



詳細は、こちらをご覧ください。

URL <https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-mannaka>



令和8年度「男女共同参画の視点による災害対応研修」開催

男女共同参画機構(JGEPA)では、男女共同参画の視点に基づく防災・災害対応の取組を促進するため、男女共同参画センターや地方公共団体の男女共同参画担当部局の職員の専門性向上を図る研修をオンラインで実施します。本研修では、講義や事例報告などを通じて防災・災害対応における男女共同参画の視点の必要性及び関係機関等との連携・協働の重要性に対する受講者の理解を深め、地域での具体的な実践につなげる契機とします。

■受講登録締切: 令和8年12月18日(金) 16時

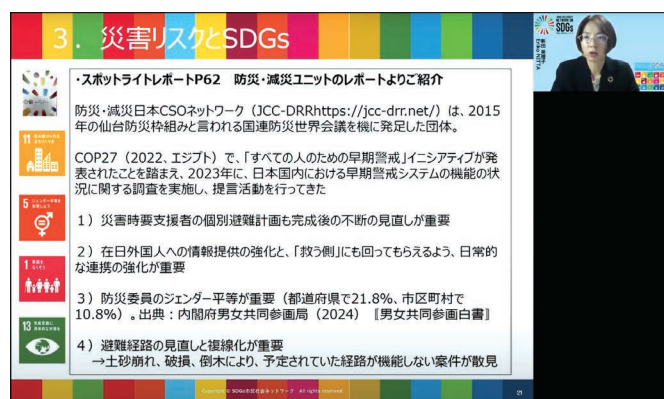
■受講期間: 令和8年11月5日(木) ~ 令和9年1月15日(金) 16時

■対象: 男女共同参画センター等男女共同参画施設の管理職・担当職員

地方公共団体の男女共同参画担当部局の管理職・担当職員
(ただし、上記以外の関心のある方も受講可)

■参加費: 無料

※本研修は「JGEPAオンラインキャンパス」で配信します。受講には、同サイトへのID登録及び研修の受講登録が必要です。



昨年度の様子: 基調講演「気候変動による災害リスクとジェンダー課題」

申込方法等詳細は、こちらをご覧ください。

URL <https://www.jgepa.go.jp/program/training/2026/campus/index.html>





男女共同参画を推進するための ジェンダー統計（1）

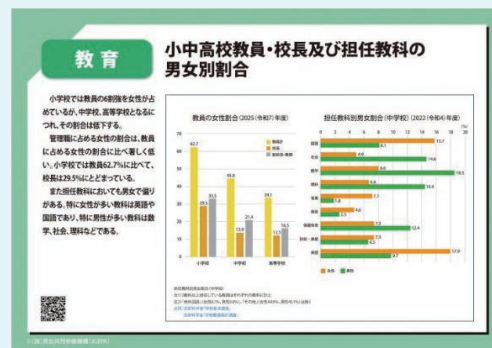
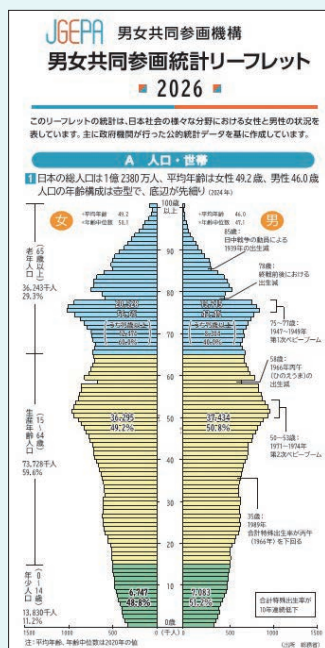
ジェンダー統計とは、社会における男女の置かれている現状や課題を客観的な数値で表した統計です。データを男女別に集計し、社会や経済構造の中で生じている男女間の格差や固定的な性別役割分担の影響を可視化することで、取り組むべき課題を明確にします。政策の立案に際しては、可能な限り、男女の置かれている状況を客観的に把握するための統計（ジェンダー統計）、データ、アンケート調査等を活用することで、主観的な感覚や経験則だけに頼らずに、客観的な事実に基づき男女共同参画の現状と課題を正しくとらえることができます。

ジェンダー統計の重要性

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー統計はあらゆる施策の基礎となります。客観的な男女別統計データによって男女間格差の実態が明らかになり、取り組むべき課題（賃金格差、意思決定層における女性参画の低さ、家事・育児の偏り、女性に対する暴力など）の特定や、重要性の高い方針・施策の立案、目標値の設定が可能となります。また、継続的に数値をモニタリングすることは、経年変化を把握し、実施した取組の効果を検証し、男女共同参画社会を確実に推進していくためにも極めて重要です。

近年、都道府県や市区町村が主体となって、ジェンダー主流化を進める取り組みが各地で実施されています。

JGEPAでは、「女性と男性に関する統計データベース」を公開するとともに、主に公的統計をもとに、人口・世帯、教育、生活時間、労働と所得、健康・安全・社会保障、意思決定の分野における男女の状況や格差を示すリーフレットや展示用パネルを作成しています。



男女共同参画に関する意識調査の意義

男女の置かれている現状や課題を可視化するうえで、「公的統計」と並び、「人々の意識や認識」も重要なデータです。第6次男女共同参画基本計画においても、両立支援、教育や進路選択、ハラスメント対策、意思決定への女性の参画など、あらゆる領域において、固定的な性別役割分担意識が障壁になっていることが指摘されています。

多くの自治体では、「働き方」や「結婚・出産」、「生きづらさ」などの住民意識や実態把握のための調査を実施しています。自治体独自の意識調査により、公的統計だけでは捉えきれない住民ニーズや対象となる人々の傾向を知ることができます。また、内閣府等が実施する全国調査と同一の質問を設置して、全国平均の回答と比較したり、同じ質問を繰り返したりして経年変化を把握する工夫を行っています。性別や年齢階級別、地域ごとの比較、経年変化を丁寧に読み解くことで、課題解決に向けた有効な手がかりとしての活用が可能です。

男女共同参画統計リーフレットと
展示用パネルの詳細は、
こちらをご覧ください。

URL

<https://www.jgepa.go.jp/program/research/learning/index.html>



お住まいの自治体では、どのような分野の男女別統計を入手することができますか？ぜひ一度確認してみてください。

次号では、全国の自治体で実施されている「男女共同参画に関する意識調査」についてご紹介します。

連載

「ワーク・ライフ・バランス」
の実現に向けて、
仕事のやり方を何かひとつ、
今日から変えてみませんか？

ひとつ「働き方」を変えてみよう！

カエル！ ジャパン

Change! JPN



Pick Up

「カエル！ ジャパン通信」メルマガ

毎月最後の平日にワーク・ライフ・バランス メールマガジン
「カエル！ ジャパン通信」を配信しています。

メルマガ登録&バックナンバーはこちら 
<https://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>



令和8年8月31日配信号

隔月で有識者コラム、全国の企業・自治体の取組事例をご紹介します。

▽本号では有識者コラムをご紹介します。

「ウェルビーイングの4分類で考える、
これからの働き方と地域との関わり」

【執筆者】法政大学大学院地域創造インスティテュート
高尾 真紀子教授

人口減少や人材不足が進むなか、地域で働き続けること、地域と関わりながらキャリアを築くことの意味が改めて問われています。一方で、働く人の価値観は多様化し、成長や達成だけでなく、つながりや穏やかさを重視する人も増えています。今回は、ウェルビーイングの4分類を手がかりに、これからの働き方と地域との関わりについて、お話を伺いました。

Point !

- 一人ひとり異なる「幸せ」
ウェルビーイングが示す新しい人材マネジメントの視点
- 地域との関わりが新たな可能性を生む
人材定着と地域活性化を支える新たな働き方の可能性
- 多様な価値観を受け入れる地域へ
若者や女性が活躍できる環境づくりに求められる意識改革

「仕事と生活の調和」推進サイトでは、様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

▶ 「仕事と生活の調和」推進サイト
～ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて～

URL <https://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>



内閣府男女共同参画局公式YouTube
https://www.youtube.com/channel/UCeJ_mPdtAoJnTFXbuDnbjQ



男女共同参画局 Facebook
<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku>



男女共同参画局 X
<https://x.com/danjokyoku>



公式ホームページ
内閣府男女共同参画局
Gender Equality Bureau Cabinet Office
<https://www.gender.go.jp/>



Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌
「共同参画」10月号

第204号 2026年10月13日発行
編集・発行 内閣府

〒100-8914
東京都千代田区
永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局
総務課

電話 03-5253-2111 (代)
印刷 株式会社丸井文社
表紙デザイン 株式会社商業デザインセンター
柳田まち

犯罪被害者等支援

わたしにも
できる支援が
ここにある

一人ひとりを
みんなが力強く
変えていく社会へ

松永有紗



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョットちゃん」

11月1日～12月1日 犯罪被害者月間

ホームページ

警察庁 犯罪被害者等支援

検索



X
(旧 Twitter)

ギョットちゃん X

検索



警察庁

National Police Agency

内閣府・こども家庭庁・総務省・法務省・文部科学省・厚生労働省・国土交通省